

2018年4月19日
JR東日本秋田支社

重大事故再発防止に向けて「安全を誓う日」を開催します

- ・ JR秋田支社では安全フォーラムやチャレンジセイフティー運動など、安全意識の高揚と過去の事故を風化させないための取り組みを行っています。
- ・ 鉄道設備の維持管理を担当する設備部門では、過去の重大事故を風化させることなく、再発を防止することを目的として、2012年度から毎年、設備関係従事員の最後の死亡事故発生日である5月22日に、関係者が一日安全について考え行動する「安全を誓う日」を開催しております。

1 日 時

2018年5月22日（火）午前9時30分より

2 場 所

ホテルメトロポリタン秋田 グランデ

3 参加者

JR社員、第一建設工業(株)、日本電設工業(株)等パートナー会社

4 内容

【午前の部】全体集会

(1) 過去の事故の振り返り

1997年5月22日発生 羽越本線 折渡構内 触車事故

事故概況：夜間の線路補修作業中に、作業員1名が列車にひかれて亡くなった事故

(2) 講演

講演者：(株)交通建設 相談役 久保 隆男 様

(3) 各職場の安全の誓い（JR：15箇所、パートナー会社等：12箇所）

【午後の部】実地訓練

JR設備関係及びパートナー会社等の各職場で安全に関する教育・訓練を実施します。

(実施例)

- ・ 秋田土木技術センター ※訓練の様子を報道公開いたします。詳細は別途お知らせ
追分駅にて、チェンソーを用いた倒木除去訓練、各種検査装置の取扱い訓練等を実施します。

- ・ 秋田電力技術センター

追分駅にて、凜とした指差称呼（線路立ち入り前の安全確認）、列車防護訓練、電線の停電を確認する検電・接地訓練、はしご昇降訓練等を実施します。

列車防護訓練



はしご昇降訓練

